授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
基礎看護技術演習Ⅰ	1年次	通年	1単位	40時間	あり

科目責任者	小瀧亜矢子・四ノ宮真寿美・野村美穂
授業概要	対象の健康維持・増進及び疾病から回復するために必要な日常生活技術を日常生活技術で学んだ知識を使い、実践方法を考え、対象者の生活を捉えた基本的な援助技術を習得する。
目標	1.対象者に必要な日常生活行動援助の内容を考え、方法を選択することができる。 2.対象者の安全・安楽・自立を踏まえた日常生活援助を考え実施することができる。 3.実施した援助を振り返り、対象者に応じた援助技術の課題を明確にできる。 4.日常生活行動援助を行う上での倫理的配慮・礼節・態度を遵守できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	ガイダンス：基礎看護技術演習について	小瀧	講義
2 3	シーツ交換：臥床安静中の患者さんのシーツが濡れた	小瀧 他	演習
4 5	食事介助:患者さんの食事が開始になった	四ノ宮 他	演習
6 7	寝衣交換：ベッド上で行う寝衣交換	野村 他	演習
8 9	全身清拭：ベット上で行う全身清拭	野村 他	演習
10 11	経管栄養：患者さんの食事が開始になった	四ノ宮 他	演習
12 13	洗髪：ベット上または洗髪台で行う洗髪	野村 他	演習
14 15	足浴：車いすで行う足浴	小瀧 他	演習
16 17	おむつ交換・陰部洗浄：自分で体を動かせない患者さんのおむつ交換と陰部洗浄	四ノ宮 他	演習
18 19	導尿：お小水がでない	四ノ宮 他	演習
20 21	浣腸・摘便：便がでない	四ノ宮 他	演習
22	まとめ：いままでの技術を振り返ろう	小瀧　他	演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野１　基礎看護学〔3〕　基礎看護技術Ⅱ　医学書院 看護がみえるVol.1　基礎看護技術　メディックメディア
参考書	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　メディカ出版 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院
評価方法	提出物(100%)